(1)第3回検討会委員提案の件について

①施設の老朽化対策について

改修・バリアフリー化は経営状況を見ながら整備について検討します。

②パスポート制の導入について

パスポート制度を導入する等により、日常使いの住民の方の負担軽減を図ります。

③営業時間の見直しについて

<u>時短営業</u>は入浴者の多い時間帯の営業時間を中心に試験的導入をしながら、利用者の方の理解を得て、実施していきます。

※公衆浴場営業時間短縮

運営費・人件費削減 コスト削減効果: 3,014,400円/年

・営業時間 6:00~22:00〔16h〕

→6:00~11:30、16:30~21:30〔9.5h〕 ▲6.5H、勤務時間 16h→12h▲6h

- · 人件費▲1,684,800 円×4 力所=▲6,739,200 円/年
- ・公衆浴場使用料▲931,200 円/年×4 ヵ所=▲3,724,800 円/年 ※R5 年 10 月八幡の湯時短実績より

④施設内の掲示物について

- ・乱雑となっている<u>注意事項の張り紙</u>は内容を整理し、効果的な掲示を目指し、今年度中に対応します。
- ・公衆浴場の<u>「熱さ番付」</u>は新しく更新し、カラーにて掲示をしましたのでご確認くだ さい。引き続き利用者の方が利用しやすい環境整備に努めます。



財政シミュレーション I

前提条件

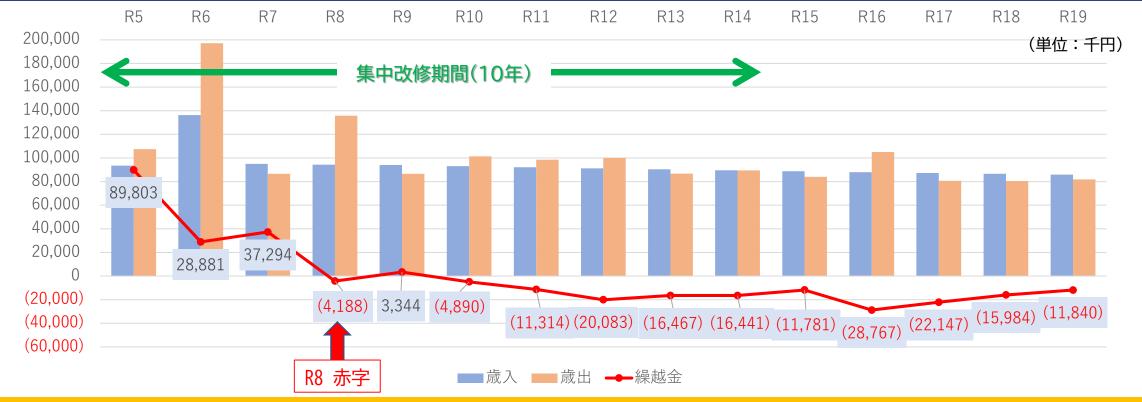
【歳入】

- a. 国庫補助の積極的活用
- b. 公衆浴場の営業時間の見直し(時短)
- c. 温泉使用料は消費者物価指数を参考に+3.5%(前回料金改定は1996年)
- d. 入浴料は銭湯料金を参考に見直し(ただし日常利用の負担軽減策を導入。)

【歳出】

<老朽化している温泉供給の施設・設備を今後10年で集中改修>

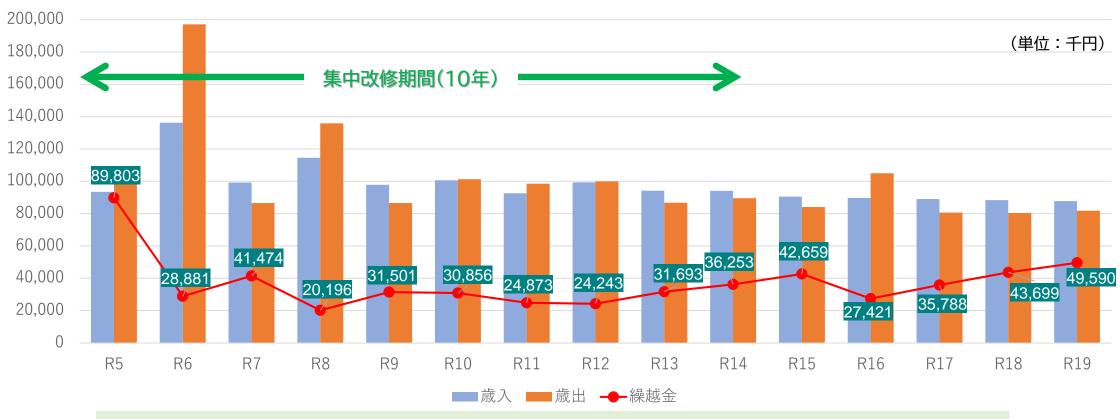
- a. 水中ポンプ化、集湯槽、分湯槽など
- b. 公衆浴場のバリアフリー化
 - ※ その他、敷設から60年経過した送湯管は順次更新



R8年度で繰越金が枯渇。老朽化施設および設備の改修が不能となり、温泉供給停止のリスク大 (設備交換等で1日停止することによる温泉供給先の損失見込額 約1,000万円)

財政シミュレーション II (市からの財源的措置)

シミュレーション [に、観光資源の観点から温泉供給設備・公衆浴場を、市民の共有財産と位置づけ、施設・設備・管路などのインフラ更新費用に対し、1/3を措置



次の施設および設備更新に向け財源として繰越金を確保